

区民と区長のタウンミーティング（2022年8月24日開催）

テーマ：中野区の教育について～教育大綱の改定に向けて～

●主な意見一覧

方針1（「中野らしさ」を生かした教育を推進する）に関する意見
○中野らしさ
「中野らしく」とは何かをブレイクダウン・具体化をした方がいいのではないか。
○多様性の尊重
年齢、国籍、性のあり方、障害の有無に関わらず、個性や違いを認めあうことが必要。
相互理解・多様性の尊重がされることが大事。
○地域とのつながり・連携
孤立しがちなコミュニティ（LGBTQや外国人）との繋がりや交流の機会の作り方が課題。
コロナによって失った、学校、家庭、地域のつながりを取り戻す必要がある。
保護者や地域の人はもちろん、学生、民間企業の人にも教育・学校に参加してほしい。
地域コーディネーターを公募したり、学生を登用してほしい。
○人材育成
教員の資質・能力の向上、専門職人材（学芸員、図書司書）の育成が必要。
方針2（誰もが「自分らしく」学べる教育を推進する）に関する意見
○自分らしく学べる教育
子どもたち自身で選び、決める。主権者教育の場の確保をしてほしい。
主体性、内的動機を重視することが大事。子ども自身の興味関心から学べるように。
子ども自身の創造性、好奇心、発達の豊かさ、個性を生かした教育の推進。
学ぶことを指導するのではなく、支援が必要。
○社会教育の推進
子どもだけでなく、全ての区民が関係する社会教育・生涯学習の推進と充実をしてほしい。
方針3（学びの環境を整備する）に関する意見
○居場所、教育環境の整備
保護者・子どもの居場所や話ができる環境がたくさんあることが必要。図書館、児童館や空き家を活用できないか。

○教員の働き方、配置

教員の働き方改革や、メンタルヘルスケアなど、教員自身の余裕と子どもと関わる時間を増やすことが必要。

支援員、専科の教員の増員や副担任制の導入など、教職員の配置を増やしてほしい。

教育・教員にかかる予算を増やしてほしい。

基本理念（つながりの中で、誰もが自分らしく学べるまち なかの）や全般に関する意見

「持続可能な社会の担い手」「人権尊重」などを言葉を入れてほしい。

SDGsや時代の変化をとらえるなどの要素を入れた方がいいのではないか。

●対照的な意見

○多様性の尊重

情緒学級、発達支援児の行き場が必要。

普通学級と特別支援学級との境目をなくしてほしい。

○教育の環境整備

教育のICT化、GIGAスクールの実現をしてほしい。タブレットの活用や現場の支援が必要。

ICTありきでは困る。家庭環境による差が生じることへの配慮や、リアルな学びや感覚を大事にしてほしい。

このほかにも、多くのご意見をいただきました。
これらを踏まえて、中野区教育大綱の改定の検討を進めます。